

III 参 考 资 料

⑨ イノベーション社会実装本部事業の概要

1 目的

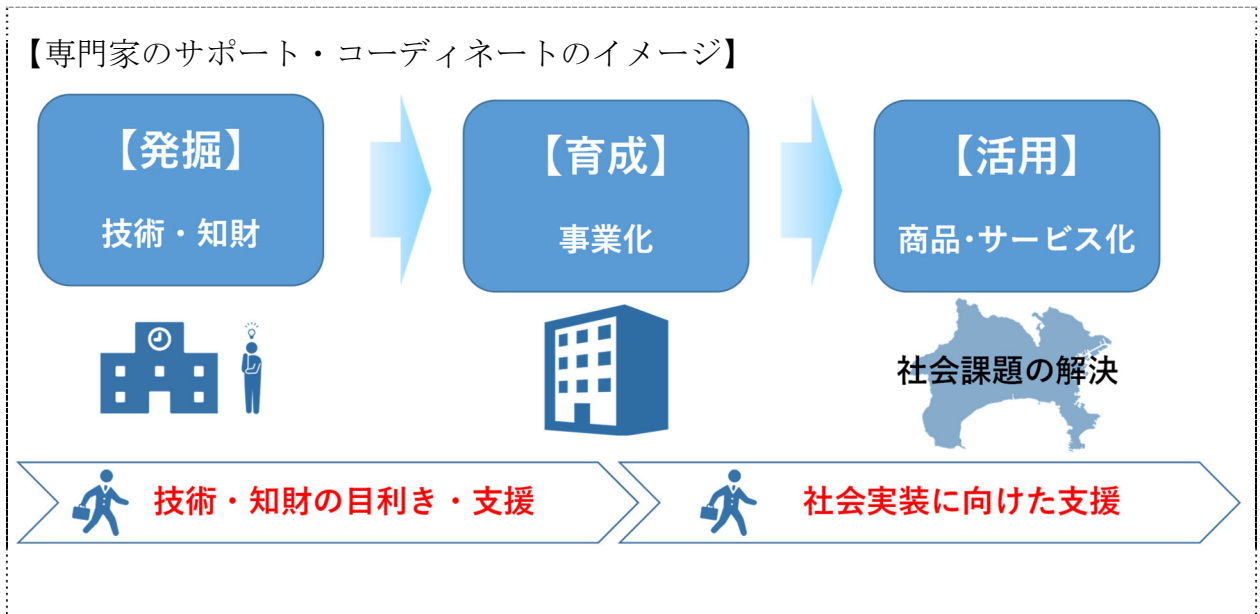
本事業は、県内のサイエンスパーク等を中心に、大学やスタートアップ企業等が持つイノベーション技術や知財を発掘するとともに、その育成・活用の支援を通じて、当該技術等を商品・サービス化して社会実装することで、未病改善や脱炭素等の社会課題を解決していくことを目的とする。

2 予算額

2, 4 1 4 万円

3 事業内容

事業名	事業の概要	予算額
イノベーション社会実装本部事業	県の社会課題の解決に向け、県内大学やスタートアップ企業等が持つイノベーション技術や知財を発掘し育成するとともに、当該技術等を活用して商品・サービス化し社会実装していくため、専門家がサポート・コーディネートする事業。	2, 414万円



問合せ先

政策局いのち・未来戦略本部室 科学技術・イノベーション担当部長 穂積 電話 045-285-0183

⑨ ヘルシーエイジングプロジェクト（認知症未病改善）の概要

1 目的

「軽度認知障害（MCI）」の兆候の見える化や介入モデルを構築し、認知症の早期発見・診断・対応までをシームレスに展開することで認知機能の低下の抑制を図る。

また、認知症に関する偏見やスティグマ（※ネガティブなレッテル）を払拭し、早期の認知症疾患医療センターでの相談につなげるなど、県民の認知症への意識変容・行動変容を促進する。

2 予算額

9, 167万円

3 事業内容

事業名	事業の概要	予算額
認知症未病改善プロジェクト	主に「軽度認知障害（MCI）」を対象にした評価を整理し、介入を実施するとともに、データを収集することで、MCI未病改善モデルの構築を目指す。	3,955万円
認知症とともに生きる社会づくり	認知症未病改善研究センター（仮称）の新設等により、認知症施策推進体制の拡充や、認知症の正しい理解を図るためのイベント等を通じて、認知症未病改善プロジェクトの成果展開等を図る。	5,212万円

認知症未病改善プロジェクト

評価系商品・サービスの整理

評価と連動した介入の実施

データ収集

認知症とともに生きる社会づくり

調査・研究拠点の整備

理解促進・普及啓発

相談支援体制の整備

かながわ発のMCI（軽度認知障害）未病改善モデルの構築と展開

問合せ先

認知症未病改善プロジェクトについて

政策局いのち未来戦略本部室 未病産業担当部長 牧野 電話 045-285-0156

認知症とともに生きる社会づくりについて

福祉子どもみらい局福祉部高齢福祉課 課長 垣中 電話 045-210-4830

一部^新県西地域活性化プロジェクトの推進

1 目的

県西地域の活性化のため、未病改善資源などをはじめとした地域の魅力を磨き、周遊促進や移住促進などによって人と人、市町の間をつなげていくことで、県西地域への人の流れを作り、定着させる。

2 予算額

1億1,266万円

3 事業内容

事業名	事業の概要	予算額
一部 ^新 県西地域周遊 促進事業費	<ul style="list-style-type: none"> 地域への小型電動自動車や電動キックボードの導入に対する支援や、自動運転の実証実験が可能な道路の調査、地域の事業者が行うコンテンツの磨き上げへの支援等を新たに行う。 未病改善を実践できる観光施設等に関する案内サインの設置や情報発信を引き続き行う。 	3,432万円
一部 ^新 県西地域未病 改善実践促進 事業費	<ul style="list-style-type: none"> 新たに、未病バレー「ビオトピア」において、地域住民を対象としたイベントを開催するとともに、体験型施設「m e - b y o エクスプラザ」にVR（バーチャル・リアリティ）技術を導入したバーチャルサイクルを設置する。 未病バレー「ビオトピア」を核に、未病改善の実践体験事業を引き続き実施する。 	1,353万円
^新 県西地域移住 ・定住促進事 業費	<ul style="list-style-type: none"> 移住希望者向けに、移住相談や現地案内に対応する相談員を設置するとともに、市町区域をまたぐツアーや県西地域の魅力を発信できる動画の作成を行う。 地域の中高生を対象に、地域の課題を洗い出し、その解決策を自ら企画、実行、検証、発表するワークショップを行う。 	1,925万円
m e - b y o エクスプラザ 運営事業費	<ul style="list-style-type: none"> 未病バレー「ビオトピア」内の体験型施設「m e - b y o エクスプラザ」を運営する。 	4,554万円

VRサイクル（イメージ）



中高生向けのワークショップ（イメージ）



問合せ先

政策局自治振興部 地域活性化担当課長 田中 電話 045-210-3251

一部^新三浦半島魅力最大化プロジェクトの取組

1 目的

三浦半島地域の活性化を図るため、新たな観光客を呼び込み「観光の魅力」を向上させる取組を実施するとともに、魅力ある仕事を創出し「半島で暮らす魅力」を向上させる取組を実施する。

2 予算額

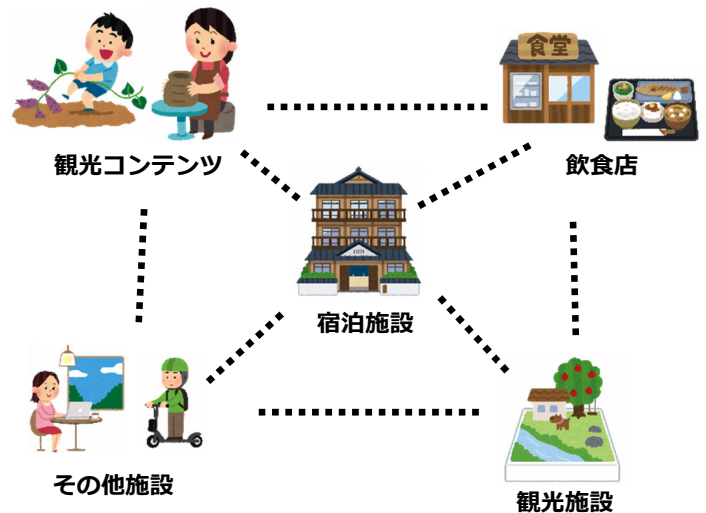
7,908万円

3 事業内容

事業名	事業の概要	予算額
三浦半島稼ぐ力創出事業費	三浦半島地域の活性化を推進するため、起業に向けた支援、経営感覚を身に付けた農業者の育成事業や、ウインドサーフィンワールドカップに関連した地域振興イベントを実施するほか、三浦半島地域の多様な事業者による議論の場（三浦半島みらいミーティング）を設定し、地域課題解決に向けた議論を行い、参加事業者による地域活性化事業を進める。	2,854万円
^新 地域まるごとホテル@三浦半島補助・委託事業費	三浦半島地域において、宿泊客を増やし、滞在時間の延長及びそれに伴う平均消費額を増やす新しい滞在スタイルを構築するため、宿泊施設や観光施設等の改修経費等に対して補助するとともに、事業を実施するにあたって直面する課題解決のための支援を行う。	4,853万円
^新 ブルーカーボン普及啓発事業費	ブルーカーボンに対する県民の意識、関心を高め、三浦半島内各市町の現場で実施される、磯焼け対策等の取組への理解や参加を促し、市町が実施する取組の充実につなげるため、ブルーカーボンの認知度向上のための動画を作成し、広報活動を行う。	200万円



三浦半島みらいミーティング



地域まるごとホテルのイメージ

問合せ先

政策局自治振興部 地域活性化担当課長 田中 電話 045-210-3251

一部^① かながわシープロジェクトの取組

1 目的

神奈川の海の魅力を活用し、沿岸地域の活性化を図るため、インターネットを通じた情報発信を行うとともに、湘南港を基点とした海上交通の取組など、海からの景観と相模湾沿岸の観光資源を活用した新たな観光「海洋ツーリズム」を推進する。

2 予算額

3, 1 1 5 万円

3 事業内容

事業名	事業の概要	予算額
かながわシープロジェクト発信事業費	神奈川の海に多くの人を呼び込むため、Feel SHONANウェブサイト・SNSにより、神奈川の海の魅力を国内外に広く発信する。	176万円
クルージング魅力向上事業費	「海洋ツーリズム」を一層推進するため、事業者が行う海上交通等のPRを行う。	938万円
^① 海上交通利便性向上事業費補助	相模湾沿岸の海上交通の需要の創出、利用の定着化につなげていくため、海上交通利用者の利便性を向上させるための環境整備を行う民間事業者に対して補助する。	1,000万円
^① 漁港活用ニーズ調査費	「海洋ツーリズム」の取組を相模湾一帯に広げるため、漁港における海上交通の受入及び地域の漁業関係資源を活用した地域活性化の可能性を検証するための調査を実施する。	1,000万円



海上交通



湘南港

問合せ先

政策局自治振興部 地域活性化担当課長 田中 電話 045-210-3251

一部^新NPOへの支援

1 目的

地域課題の解決に取り組むNPOが自立的、安定的に活動できるよう支援するとともに、NPOと行政や企業との協働・連携を推進する。

2 予算額

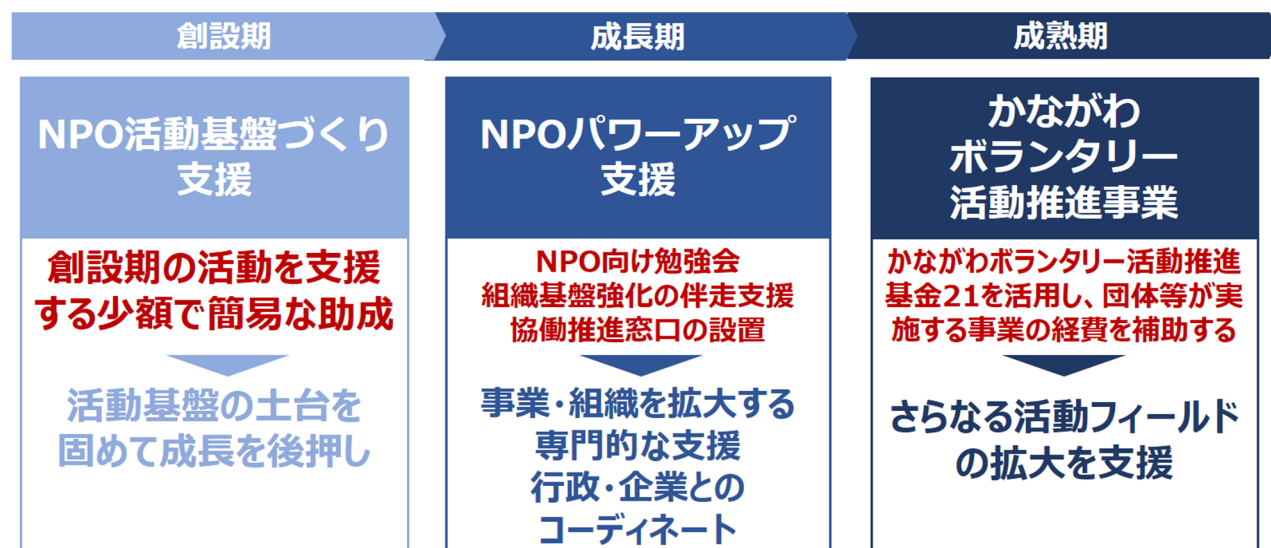
8,139万円

3 事業内容

「創設期」「成長期」「成熟期」といったNPOの成長段階ごとに、各団体の抱える課題やニーズに応じた支援を実施する。

事業名	事業の概要	予算額
^新 NPO活動基盤づくり支援事業	創設期の活動を支援する少額で簡易な助成により、NPOの活動基盤の土台を固めて成長を後押しする。	2,100万円
^新 NPOパワーアップ支援事業	NPO向け資金獲得等の勉強会や、組織基盤強化の伴走支援により、NPOに対して専門的な支援を実施するとともに、協働相談窓口の設置により、NPOと行政や企業との協働・連携をコーディネートし、協働・連携を推進する。	2,019万円
かながわボランティア活動推進事業	「かながわボランティア活動推進基金21」を活用し、NPOなどボランティア団体等と県との協働事業やボランティア団体等が実施する公益的な事業の経費を補助する。	4,020万円

ONPOの成長段階に応じた支援



問合せ先

政策局政策部NPO協働推進課 課長 一柳 電話 045-210-3700